

ソフト的な分野において推進すべき事項 (概要)

平成15年7月1日

ソフトウェア懇話会

ITシステムにおけるソフトウェアの比重の増大、情報セキュリティの脅威の増大などに積極的に対応する必要

ソフト的な分野における戦略的な取組

オープンソフトウェア開発・利用の促進

ソフトウェア及び情報セキュリティの人材育成拠点等

情報セキュリティの強化

総合的デジタルアーカイブ・ネットワークの構築

ヒューマンインターフェースの高度化

アジア重視の取組み

e-Japan戦略

IT利活用による「元気・安心・感動・便利」な社会の実現

推進すべき事項(1)

オープンソフトウェア 開発・利用の促進

オープンソース・ソフトウェア

利用者が安心して利用できる選択肢を提供し、健全な競争環境を実現

オープンソースのOSや基盤ソフトウェアの**研究開発推進と技術移転**

オープンソースの**活用法**の検討(各種ライセンスの影響等も考慮)

オープンソースをチェック、改善、新規開発できる**人材、コミュニティの育成、ツール等**を整備

ソフトウェア及び情報セキュリティの人材育成等

高度人材を大幅に育成

下請け構造など業界の構造的問題の改善にも配慮

産学官で実践的ソフトウェアを研究開発しつつ技術力を高める**拠点(ソフトウェア開発センター)**を構築

情報セキュリティに関する研究開発を行い技術力を高める拠点を構築

大学教員・講座等の大幅増加、研究開発プロジェクトによる人材育成支援、遠隔教育等による初中級技術者の育成など

情報セキュリティの強化

セキュリティ文化を身につけるための**周知啓発**

総合的な情報収集・分析、基準策定、安全性評価等を実施又は統括する組織を設置又は大幅強化・拡充

攻撃の予防対処等に加え、ネットワークの安全性・信頼性向上、高信頼・高安全ソフトウェア等の**研究開発**を強化

推進すべき事項(2)

総合的デジタルアーカイブ・ネットワークの構築

美術館、博物館、図書館等のデジタルアーカイブ化

の推進と、その教材としての活用や一括検索システムの実現。ウェブページのアーカイブ化等

コンテンツ作成・利用技術、迅速な検索技術、著作権保護技術等の**技術開発**の推進。

著作権処理のルール化

ヒューマンインターフェース (ITが受容されるための最重要分野)

「使いやすい」IT
〔人と機械、人と人の円滑なコミュニケーションの実現〕

嗜好やTPOに合わせた対応、プライバシーの保護、健康やストレス等にも配慮した**分野横断的研究開発の推進。**

実際の社会環境での実証実験を推進。

グローバル時代に不可欠な**多言語間の機械翻訳システムの開発**を推進

アジア重視の取組

日本やアジアの情報を集めて配信する**世界の情報通信ハブ**を目指す

アジア言語の機械翻訳技術に加え、**アジアの文字コードの標準化**を推進

アジアにおける**デジタルアーカイブの整備**の促進

アジア諸国からの**技術者等の入国を支援**、など

(参考)ソフトウェア懇話会構成

秋草	直之	富士通株式会社代表取締役会長
国井	秀子	株式会社リコー執行役員ソフトウェア研究開発本部本部長
坂村	健	東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授
月尾	嘉男	元東京大学教授
辻井	重男	中央大学理工学部情報工学科教授
土居	範久	中央大学理工学部情報工学科教授
長尾	真	京都大学総長
原島	博	東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授
横井	茂樹	名古屋大学大学院情報科学研究科教授
脇	英世	東京電機大学工学部情報通信工学科教授